

中学・高校での主体的・対話的で深い学びの実現と評価

次期学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現が特に重要な目標であるとされています。また、この観点からの中・高で一貫したカリキュラム設計・指導・評価の一体化が求められており、今後の実施に向けての諸課題が現状において提起されています。

本セミナーでは、学習科学の立場から、「協調学習」を軸とした継続的な授業改善サイクルと対話プロセスの可視化及び大学入試改革との関連等について、白水始氏にご講演を行って頂きます。また、独自に開発したパフォーマンス評価を導入し、中学・高校での多様な学習者を対象とした、主体的に学ぶ授業への改革で成果を収められた田中容子氏にご講演を頂きます。参加者の方々と共に、今後の英語教育における「主体的・対話的で深い学びの実現と評価」の在り方について考える場となれば幸いです。

日時 2017年10月29日(日)
13:00～17:00(12:30受付開始)

場所 熊本大学 黒髪北キャンパス
文・法学部棟1階 A2教室



【プログラム】

講演1「主体的・対話的で深い学びのための 継続的授業改善—英語教育を題材に—」

白水始氏（東京大学高大接続研究開発センター 教授）

講演2「多様な学習者の主体的な学びを促すパフォーマンス評価の在り方」

田中容子氏（京都大学大学院教育学研究科 特任教授）

質疑応答

参加費無料

【お申し込み・お問い合わせ】

熊本大学大学院社会文化科学研究科 社会人大学院教育支援センター
Tel/Fax:096-342-2390 E-mail:full1102@kumamoto-u.ac.jp

※できるだけ、前日までに電話/FAX又はe-mailでお申し込みをお願い致します。

氏名・所属先とともに、「英語教育セミナー参加希望」と明記してください。

詳細は「社会文化科学研究科ホームページ」をご覧ください。

<http://www.gsscs.kumamoto-u.ac.jp>